

香美市長選挙での推薦のお願い

二〇一四年一月三十日

元気に暮らせる香美市・みんなの会

貴組織のご活躍に心からの敬意を表します。

元気に暮らせる香美市・みんなの会（以下、みんなの会）は、三月二十三日投票の香美市長選挙に元香美市議会議員の笹岡優さんをたて、元気に暮らせる香美市政の実現めざして、全力でとりくんでいます。

これからの香美市のリーダーに必要な条件は、

- ①市民の苦勞、思いに寄り添う温かい心をもち、
- ②大変きびしい状況にある市民の暮らしと地域経済を守るために、「住民の福祉の増進」（地方自治法）を目的とする地方自治体本来の役割を発揮させる。そのため県下でトップの貯金（財政調整的基金約五十億円）などを市民の立場で真に有効に活用できるリーダー。
- ③香美市の豊かな自然・文化、地場産業、高知工科大学など地域資源を生かし、食料・エネルギーなど循環型の新しいまちづくり、職員の力を発揮、住民参加のまちづくりを推進できるリーダー。
- ④市長選は、安倍自公政権が暴走する中でたたかわれます。国民の声を聞かず、原発の再稼働やTPP参加を推進し、消費税増税を押し付ける一方で社会保障を改悪、軍事予算を増やし、特定秘密保護法の強行に続いて集団的自衛権の容認に踏み込むなど「戦争ができる国づくり」にむかつて突き進んでいます。こうした国の悪政に対し、市民の立場できつぱり発言し、市民の暮らしを守る立場で積極的に発言・提案できるブレない政治姿勢を持つリーダーです。

みんなの会は、この条件に最もふさわしい人物は笹岡優さんだと確信します。

笹岡さんは、みなさんもお存知のように住民と共に行動する政策マンです。公立保育の民営化阻止、不公正な同和行政の是正、ゴミ減量化の推進と大量焼却施設建設の見直し、地元の量販店と協力し、産直コーナー設置、98豪雨での災害復旧・孤立地に衛星電話設置、住民不在の町村合併に反対する運動、健康・元気づくりにマレットゴルフ場の開設、シカ被害対策の四国4県の共同を促進、異常な米軍機低空飛行訓練の調査・告発など、抜群の論戦力と行動力で多くの実績を築いてきた確かな力量の持ち主です。

また、八六年の土佐山田町長選で三八二四票（得票率43.3%）を獲得しています。議員として通算4期勤め、スポーツや保育関係など幅広い活動で市民から信頼を得ています。

多くの市民がいまの現状に閉塞感を抱いており、市民の声を受けとめて、打開できる実行力のあるリーダーを求めています。また、香美市誕生後、市長選は二回続けて無投票となっており、今回の市長選は、合併後の市政のあり方について、市民がはじめて意思表示する重要な機会です。

笹岡優さんとともに、元気に暮らせる香美市を築くために、あたたかいご支援・ご協力をいただけますよう、心からお願ひ申し上げます。

記

- 一、貴組織において、推薦もしくは協力共同の決定をしていただき、可能な範囲でのご協力をお願いします。
- 二、笹岡優の政策・宣伝物などを、会員や組合員のみなさんに配布することにご協力ください。また会で挨拶や懇談などさせていただきますよう、会を設定してください。
- 三、貴組織の機関紙誌などで紹介や挨拶の機会をいただけるようご検討ください。
- 四、「元気に暮らせる香美市・みんなの会」にご加入ください。

以上、よろしくご検討ください。

笹岡 優（まさる）氏の経歴

一九五二年二月一〇日生まれ、六一歳。

一九六四年土佐山田町立山田小学校卒業、一九六七年同鏡野中学校卒業、一九七〇年高知県立高知東工業高校機械科卒業。

一九七〇年協和農機株式会社（現在、セイレイ工業）に技術職として入社、七六年には約一年間スリランカ赴任、一九八六年に退職し、日本共産党専従となる。一九八六年と一九九〇年に土佐山田町長選挙に立候補。一九九四年土佐山田町議会議員に当選、二〇〇六年三月より香美市議（通算四期）。

一九七一年から七五年、全金協和農機労組青年婦人部役員、青年の総合サークル「ツモローサークル」会長。一九七四年、共同保育所コスモス事務局長。一九八四年土佐山田保育所保護者会会長。一九八六年土佐山田人権共闘議長。一九九一年土佐山田保護者会連合会顧問。一九九三年鏡野中学校PTA学年会長。一九九二年舟入ジュニアバレーボール部会長。二〇〇四年高知県マレットゴルフ協理理事長。

二〇〇四年十二月から日本共産党高知県東部地区委員長。二〇〇六年二月から日本共産党四国ブロック国政対策委員長

二〇一〇年二月から日本共産党国会議員団四国ブロック事務所長

趣味は、スポーツ（スキーはインストラクター資格）、陸上、サッカー、楽器演奏。

家族は、妻と一男二女。

現住所 高知県香美市土佐山田町京田一―二

元気に暮らせる香美市・基本政策

ゆたかな自然を活かしこのまちで暮らせる産業づくり

地域循環型経済のまち

- ・ 自然エネルギー基本条例制定と支援制度の充実
- ・ 住宅リフォーム助成制度・業者への融資制度の拡充
- ・ 地産地消、担い手対策など一次産業振興
- ・ 地域資源を生かした多様な観光メニューの開発
- ・ 商店街振興を買物困難への手立てと一体で推進
- ・ 鳥獣被害対策は、国と「広域連携」で推進
- ・ 雇用の場として医療・介護・福祉分野の重視
- ・ 「原発ゼロ」「TPP交渉からの撤退」に全力！

産み、育て暮らし続けられる

県下一安全安心なまち

●いのちと財産を守る

- ・ 生活を支える拠点施設、道路、橋などの耐震化促進
- ・ 地すべり地域支援、集落の孤立化対策と広域協力体制確立
- ・ 避難場所の再検討と非常用電源・備蓄品の整備
- ・ ヘリポート増設と物資の配送体制づくり
- 子育て安心で住みたいまちに
- ・ 子どもの医療費 高校生まで無料化
- ・ 保育料は第2子から無料に
- ・ 予防接種、不妊治療の助成拡大
- ・ 児童クラブは市が責任を持ち運営。専用施設の整備
- ・ 就学援助の対象拡大で教育費、給食費の負担軽減
- ・ 市独自の高校奨学金を増額

住民負担軽減、国、県に積極的に発信

暮らしの防波堤とつと

●予防を軸にした医療・介護の促進

- ・ 高すぎる国保税の引き下げ
- ・ 低所得者の医療費の窓口負担軽減、早期治療で医療費を抑制
- ・ 条件不利地の介護事業所への支援
- ・ 小規模特別養護老人ホームの整備や安心してつとえる拠点づくり
- ・ 生活交通手段の確保
- ・ 国の医療介護の切捨てに反対。制度改善に国・県に積極提言
- 平和な香美市を
- ・ 郷土の軍事化に反対
- ・ 憲法九条を守り活かし、平和行政の推進

住民・職員参加で地域の力と資源を生かす

「住民が主人公」のまち

- ・ 公正公平な行政運営で、市民、職員の知恵と力を結集します。
- ・ 気軽に市政懇談会を開催(出前市長室)
- ・ 女性の力を市政に活かす
- ・ 支所機能の充実と地域の自主的活動を支援
- ・ 地域カルテの作成で実情にあった施策推進
- ・ 幼児教育から大学院まである利点を活かす。国・県の出先機関と連携をはかる

財源運営についての基本的な考え方

- ・ 自由に使える財政調整的基金(貯金)は、約 50 億円と県下トップです。しかも、この 2 年間で 10 億円も増加しています。(県市町村振興課「2013 年度当初予算の概要より」)
- ・ 将来負担比率(貯金と借金の合計を財政規模で除したものは、マイナス 16%と貯金が上回っています。県内の市部でトップの「健全」さです。
県内、全国平均はプラス 60~70%と借金が上回っていますが、自治体の仕事は、世代間で負担を公平にするため 40 年使う施設などは、借金をして整備し、徐々に返す仕組みをとっています。「借金がある」のが当然の姿であり、「貯金为上回っている」のは十分な市民サービスが提供されていないことを示しています。
- ・ 財源はあります。使い方の問題です。暮らしと経営を元気にする施策、子育て支援など住みよいまちづくりは、税収増、人口増による国からの交付金増につながります。
- ・ 無駄削減は公正な市政でこそ~特定勢力の影響による不必要な事業を排除できます。